

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和3年5月20日(2021.5.20)

【公開番号】特開2020-182457(P2020-182457A)

【公開日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2020-046

【出願番号】特願2020-77741(P2020-77741)

【国際特許分類】

C 12 N 15/10 (2006.01)

【F I】

C 12 N 15/10 Z N A Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月12日(2021.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数領域の核酸増幅が同一反応系で進行する鑄型依存的核酸増幅反応において、標的領域の核酸増幅を特異的に抑制する方法であって、標的領域内の任意の位置にハイブリダイズする一本鎖核酸を反応系に添加する工程を含み、該一本鎖核酸はRNAまたはRNAと他の核酸とのキメラであり、鑄型依存的核酸増幅反応がLAMP法、ICAN法およびSDA法からなる群より選択されるいづれかであることを特徴とする核酸増幅抑制方法。

【請求項2】

複数領域の核酸増幅が同一反応系で進行する鑄型依存的核酸増幅反応において、標的領域の核酸増幅を特異的に抑制する方法であって、標的領域における顕著に短い任意の領域にハイブリダイズする一本鎖核酸を反応系に添加する工程を含み、該一本鎖核酸はRNAまたはRNAと他の核酸とのキメラであり、かつ、10~200塩基からなること(ただし、10~70塩基からなる場合を除く)を特徴とする核酸増幅抑制方法。

【請求項3】

一本鎖核酸が一本鎖RNAである請求項2に記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項4】

鑄型依存的核酸増幅反応が、鑄型核酸にプライマーをアニーリングさせプライマーの3'末端から核酸を伸長させることにより核酸鎖を増幅する反応であることを特徴とする請求項1または2に記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項5】

鑄型依存的核酸増幅反応が、PCR法、RT-PCR法、NASBA法、LCR法、TRC法およびTMA法からなる群より選択されるいづれかであることを特徴とする請求項4に記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項6】

鑄型依存的核酸増幅反応がPCR法またはRT-PCR法であることを特徴とする請求項5に記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項7】

鑄型依存的核酸増幅反応に用いるDNAポリメラーゼが型DNAポリメラーゼであることを特徴とする請求項4~6のいづれかに記載の核酸増幅抑制方法。

【請求項8】

標的領域の核酸増幅を特異的に抑制するキットであって、標的領域における顯著に短い任意の領域にハイブリダイズする一本鎖核酸を含み、該一本鎖核酸はR N AまたはR N Aと他の核酸とのキメラであり、かつ、1 0 ~ 2 0 0 塩基からなること(ただし、1 0 ~ 7 0 塩基からなる場合を除く)を特徴とするキット。